



講演概要

「人工ゼオライト」の新しい利用技術」

低炭素社会構築や循環型社会形成及びゼロエミッション達成が求められている中で、飛躍的な発展が見込まれる環境産業分野を主導・先導できる先端技術の創出と応用・実用化の一つの事例として、石炭灰に代表される産業副産物を利用した新素材の「人工ゼオライト」およびの事例として、石炭灰に代表される産業副産物を利用した新素材の「人工ゼオライト」および同素材を基にした新規な「機能性ナノ複合体物質」の創製と、これらの新しい素材物質の産業上での活用技術について述べる。

略歴

九州大学大学院終了後、昭和50年愛媛大学農学部助教授、平成7年愛媛大学農学部教授、平成21年愛媛大学大学院連合農学研究科長・教授となり現在に至る。この間、昭和53年ニュージーランド国立科学産業研究所客員研究員、昭和60年カナダ国立サスカチュワン大学客員教授。

専門は、土壌学、粘土鉱物学、資源化学、環境改善化学。関連学会において、日本粘土学会評議員、同学会常務委員、同学会英文誌「Clay Science」編集委員長、日本土壌肥料学会評議員、関西土壌肥料協議会会長及び日本土壌肥料学会関西支部長を務めた。石炭灰ゼオライト化実証プラント委員（旧経済産業省管轄グリーン・ジャパン・センター）、人工ゼオライト標準化委員長（経済産業省）、廃水処理技術開発委員（愛媛県）、廃物処理減量技術開発委員（愛媛県）など国や県の各種委員も務めた。現在、人工ゼオライトフォーラム（産官学連携組織）会長。

受賞歴

ニュージーランド国立研究協議会賞

日本土壌肥料学会賞

日本粘土学会賞

アメリカ化学会ケミカルアブストラクト功労賞

紙パルプ技術協会賞

印刷朝陽賞

韓国名誉科学者称号

プロジェクト

「ウズベキスタン乾燥土壌改良プロジェクト」

「英国エコタウンプロジェクト」

著書

「粘土の辞典」「土壌の辞典」「粘土の世界」「灰から生まれる宝物のはなし」「人工ゼオライトが地球を救う」

「無機系廃棄物の人工ゼオライト転換による有効利用」「土と食料—健康な未来のために—」など